

「簡易型環境マネジメントシステム(EMS)ってなに？」。大阪府立産業技術総合研究所は14日、月例セミナーを大阪市東成区の大阪府環境情報センターで開き、経営体力の増強に向けた環境に優しい企業の取り組み方を紹介。建設分野では井沢設計(八尾市)の井澤専務がエコアクション21の取得事例を発表した。

セミナーでは、京都精華大学の山田國廣教授が「循環型社会と企



「近い将来、強力な武器に」と語る井澤専務

## システムの有用性アピール

井沢設計がEMS取得事例を発表

業の取り組み」と題して基調講演、簡易型EMSに取り組むことのメリット、ISO14001との比較など概略を説明。エコアクション21地域事務局大阪の大畑明氏がエコアクション21を解説、要求事項の簡素化、低コスト化、環境活動レポートを持つなどの長所をアピール。4月に認証取得した井沢設計の井澤専務は、「近い将来、指名獲得競争での強力な武器となる」と有用性を指摘、取得費用が安いなど実際面も交えて分かりやすく紹介した。

引き続きエコステージ研究会の新名康幸氏、京のアジェンダ21フォーラムの浅野彰氏もそれぞれが取り組む簡易EMSを説明した。

総合ニュース(行政・経済・業界)